

デートDV チェック項目に

1つでも✓があれば、 デートDVかもしれません

チェックリストにあるようなことを、したり、されたりしたことはありませんか？

チェックの数や回数に関係なく、相手との関係で、あなたが不自由な思いをしたり、自信を無くしたり、自分らしく生活することができなくなったように感じているなら、それは相手から支配（コントロール）されている状態（DVを受けている状態）です。「これくらいは我慢できる」、「別れようと言い出すのは怖い」、「優しいところもあるし…」などと考えているうちに、深刻な暴力被害を受けてしまうこともあります。

恋人同士でも、相手をコントロールしたり 傷つけたりするのは、ダメ!!

「好き」の言葉に隠れた
コントロールかも？

「心配してる」は、
愛じゃなくて監視かも？

恋人だからって、
なんでも許される？



それって、 ほんとにLOVE? ちょっと考えてみてね

「好き」が苦しいなら、それは暴力かもしれません!!

「好きだから」「嫌われたくないから」という気持ちが先だって、自分では暴力だと気づけないこともあります。



デートDVは、なぜ起こるの？



恋人関係でも「支配する側」と
「従う側」を生みやすくします。

社会には、「男は強くあるべき」「女は従うべきだ」といった、無意識の思い込みや決めつけ、当たり前だとされている価値観、刷り込まれた考え方が存在します。

心地よい関係を目指そう!!

どちらかが我慢したり、支配したりする関係ではありません。
大切なのは、ふたりが心地よく関われることです。

あなたが、誰かに相談されたり、誰かの被害に気付いたりしたら
年齢・性別を問わず相談できる窓口があることを伝えてください。

DV相談ナビ

電話で相談!

は れ れ ば

#8008

警察相談
専用電話

警察本部などの相談
窓口につながります!

#9110

チャットで相談



DV相談プラス

デートDVとは



内閣府
男女共同参画局



パープルリボンは
女性に対する暴力根絶の
ためのシンボルマーク

出典：内閣府